

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		(有)スエヒロ 放課後等デイサービス みんなのそら					公表日	2026年2月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内遊びと屋外遊びなど分散し、それぞれが満足して遊べる環境を意識しています。	基準は満たしているがワンフロアなため、一人一人の活動が十分に保障される環境づくりを日々工夫していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員より多く配置し、子どもたちが安心・安全に過ごせるように配慮している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活の流れが分かるようにホワイトボードにスケジュールを提示したり、物の置き場所等はイラスト等を用いた視覚的支援も行っている。	自分で分かって自主的に行動できることを目指し、子どもたちにとって分かりやすい環境をより一層工夫していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日のサービス前後に、清掃、整理整頓、必要に応じて消毒を行っている。また、活動に合わせて子どもたちが過ごしやすいように配慮している。	より一層清潔感を感じていただけるよう、こまめな清掃、環境整備を進めていきたいと思っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習室や静養室として、個室を使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の昼や終わりのミーティングや毎月の振り返りに機会を設けている。記録をとり、全スタッフが共有できるようにしている。	打ち合わせ記録を取り、共有できる状態になっているが、その日いないスタッフへの共有が抜けてしまうこともあり課題である。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からの評価を真摯に受け止め、改善が必要なことを話し合い全スタッフに周知しました。	より一層保護者様のご理解が得られるよう努めていきたいと思っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個人面談を年に5回設けています。また日々の打ち合わせでも気付いたことを出し合い業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		相談事業所等、外部の方から外部評価の機会を検討したいと思います。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回のスタッフ研修、2ケ月に1回のケース検討会議など、定期的な内部研修を実施している。	内部研修の他、外部の研修にも積極的に参加し、資質向上を目指していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表、実施しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別支援会議を実施し、一人ひとりの支援に関しての意見交換、検討し、作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援会議を設けている。また、参加できないスタッフも共通認識のもと統一した支援ができるよう計画・会議の内容を伝達している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングで機会を設けている。また、参加できないスタッフも共通認識のもと統一した支援ができるように記録にも残している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ケース検討会等で子どもの特性・行動を整理し理解を深める努力をしている。必要に応じて保護者に検査結果等のフォーマルなアセスメントを聞き、支援に活用している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容も記載している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の定期的なミーティングで活動の振り返りと次月の計画を立案し、実施している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月の定期ミーティングで意見を出し合い、工夫している。子どもが興味を持ったものを取り入れ新たな遊びを提供し活動の充実に努めている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の特性を踏まえ、計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングを実施している。当日の支援内容、役割に加え、前日の振り返りのミーティングで の重要事項や変更事項、当日の子どもの様子（保護者からの連絡による情報等）を伝え、共有している。	保護者からのLINEでの連絡確認で漏れが出てしまったことがあるので、その都度確認することを徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録をとり、支援の振り返りを行い、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月ごとモニタリング会議を行い、皆で確認・見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせながら日々の活動プログラムを作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動を選ぶよう設定しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管、管理者が参加し、会議内容は全スタッフが共有できるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡を取り合いながら連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		適宜、連絡・情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育園等に見学に伺わせていただいたり、お話を伺い情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて会議等に参加し情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修があれば必要に応じて参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園等やイベント等で地域の子どもたちと交流したり、ファミリーホームの子どもたちとの交流を持つ機会を設けております。また学生ボランティアも積極的に受け入れ交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にお話ししたり、LINE等で子どもの状況をこまめにお伝えするよう努めている。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様対象の研修を今年度は2回開催いたしました。	参加者が少ないため、より多くのご参加を募れるよう開催時期や内容を検討していきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し、同意をいただいております。内容に変更等がある場合には随時お知らせしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもとは日々の様子ややり取りの中で想いを汲み取ったり、聞き取りをしている。保護者様には面談時等で意向を伺っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明し同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様から要望があれば面談等を行い、傾聴・共感を重視しながら丁寧な対応を心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様同士の交流の場、懇親の場になっていただきたいとの思いで、保護者会は7月・9月・3月に開催、ご家族参加型の行事は年に7回開催しております。	参加人数がなかなか増えないのが現状であります。より多くのご参加を募れるよう工夫していきたいと思います。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口をお伝えしている。苦情があった場合には速やかに対応、解決できるように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回のおたよりの発行、随時SNSの更新、保護者様とのLINEのやり取りを通して、情報発信、連絡体制をとっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		おたより等への写真使用に関しては保護者様に確認しております。スタッフには守秘義務の厳守をお伝えし徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的に伝える方法を工夫したり、静かな環境で話が伝わるように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		企業さんのイベントに参加させていただいたり地域のハロウィンパレード等に参加させていただいている。	地域の方を招いた行事の開催等、今後検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは作成しており、訓練も定期的に行っている。	マニュアルに関しては希望されたご家庭のみに配布しておりました。ご家族にも周知できるようマニュアルを配布するなど対策を検討しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しています。避難訓練は定期的に行っています。非常食等の備品も定期的に確認・補充を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時に確認しています。服薬等の変更があった場合は、都度お知らせしていただくようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在、該当するお子さんはいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成して取り組んでいます。各種研修・訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づいて取り組んでいます。HPでご家族に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日打ち合わせでヒヤリハットを出し合い対策を検討し、全スタッフに共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で内部研修を行っています。風通しの良い職場となるよう職員の関係作りを意識しています。また外部の研修にも参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを作成しています。原則的には身体拘束は行ないません。契約時に重要事項説明書を用いて説明し同意を得ている。	